

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

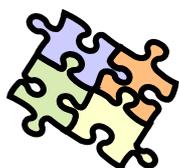
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2009年12月1日発行

年内も残すところ1ヶ月となりました。今月は、新たに市民グループ委託講座の「マイケアプランのすすめ」「おもちゃドクター養成講座」がスタートします。中面をご覧ください。ぜひご参加ください。

年末年始のお知らせ

はもりあ四日市は、年内は12月26日(土)まで開館、年始は1月5日(火)から開館します。



30年目を迎えた「女子差別撤廃条約」と日本の課題

今年は国際社会の女性の憲法といわれる「女子差別撤廃条約」(以下「条約」と略します)が、1979年に国連で採択されて30年目にあたります。今回は女性の地位向上に非常に大きな役割を果たした条約と、日本との関わりをみてみましょう。



【条約の内容は】

一般的に“条約”は国と国との約束事ですが、この条約は、個人による女性差別や社会の慣行による女性差別の撤廃まで踏み込むことを締結国(2009年5月現在186カ国)に求めており、そこに大きな特徴があります。そのために締結国は、女性の差別を禁止する法律の制定や雇用の分野での男女平等の確立などに加えて、個人や企業による女性差別、社会の差別的な慣習の是正・撤廃に向けても取組を進め、男女平等な社会を実現することが求められています。そして、締結国には定期的に、国連へ実施状況を報告する義務があります。

【日本が批准した時期はいつ?】

条約が採択された1979年当時、日本は批准に向けて解決しなければならない課題が3つありました。それは、「国籍法が、父親が日本人でないと子の日本国籍取得を認めていないこと」「労働条件の男女平等を定めた法律がないこと」「高校の家庭科が女子のみの必修になっていること」です。そのため政府は1984年に国籍法を改め、1985年に男女雇用機会均等法を国会で成立させて、世界で72番目の締結国になりました。また、高校の家庭科に関しては1989年の学習指導要領の見直しにより、男女必修の科目になりました。

【条約締結国としての日本の課題は】

政府は今年7月、国連女子差別撤廃委員会に第6回報告を行ないました。しかし女性への差別的な法規定の存在や社会の意思決定の場に女性比率が低い等の理由から政府の取り組みは不十分と判断されました。そのため、両性の婚姻年齢を18歳に統一することや女性のみ適用される離婚後の再婚禁止期間を廃止することなどに関して法律を改正すること、意思決定の場に女性を増やすことについて数値目標とスケジュールを明確にすること、の2点について、2年以内に実施状況を報告することが求められました。また、選択議定書を批准していないなど多数の課題が指摘されており、条約の趣旨の徹底と締結国としての真摯な取組が日本に求められています。

女子差別撤廃条約

選択議定書とは...

人権侵害を受けた個人や団体が国連の女子差別撤廃委員会に直接通報できる仕組みを決めたもので、国連がその国の協力を得て、調査を行なうことを可能にしています。現在96カ国が批准しているなか、先進国では日本とアメリカ合衆国がまだ批准していません。

さんかくカレッジ 2009 「市民企画講座」後期講座が始まります！

男女共同参画の視点で、市民の立場から講座を企画・運営していただこうと、登録グループに募集したさんかくカレッジ 2009 市民企画講座の後期講座が決定しました。どの講座も楽しく、男女共同参画について、これからの生き方について考える講座となっています。皆さん、ふるってご応募ください。詳細についてはチラシ、または“はもりあ四日市”のホームページをご覧ください。

< 『マイケアプランのすすめ』・・・嬭（はばたき） >

自分や家族がどのような介護を受けたいのか、市民（当事者）の視点で、高齢期の暮らしを取り巻く地域福祉やよりよい福祉サービスについて考えます。

日時：12/19（土）・1/16（土）・1/30（土）・2/20（土）10：00～12：00 参加費：1,200円

< 『おもちゃドクター養成講座（入門編）』・・・四日市おもちゃ病院 >

大好きなおもちゃ、たくさんのおもしろい思い出がつまったおもちゃを修理するおもちゃドクター。あなたも家庭や地域で活躍するおもちゃドクターをめざしませんか？（好評につき、定員となりました。お申込ありがとうございます。）

日時：12/19（土）・1/16（土）・2/20（土）13：30～16：00 参加費：1,000円

< 『ドイツの街の中での高齢者の暮らし』・・・シーズネット三重 >

特にバリアフリー化が進んでいるとは言えないドイツで、お互いに自然な形で助け合い、家族の絆を大切にしている暮らしぶりを聞き、地域社会の中でのシニアの生き方を考えます。

日時：1/27（水）13：30～15：30 参加費：300円



ご存知でしたか？ 厚生労働省の 「父親のWLB（ワーク・ライフ・バランス）応援サイト」

このサイト（インターネットの中のページのこと）は、男性の子育てと仕事の両立支援を目的として、育児休業を取る時の注意点や育児期の父親が受け持つ役割などがわかりやすく解説されています。

また困ったときの相談窓口も紹介されているほか、このサイトの中でメール相談ができるようになっています。



左はサイト内で紹介されているハンドブックです。こちらには、これから父親になる男性やすでに子育てをしている男性に対するメッセージや両立させるための方法などが書かれています。

妊娠から出産までの女性と胎児の身体の変化と父親としての接し方が見やすい表になっているなど、男性にも女性にも企業にとっても参考になる情報が多く盛り込まれています。

子育てにはパートナーの協力が必要です。父親のワーク・ライフ・バランスを実現することは、母親のワーク・ライフ・バランスを実現することでもあります。そのきっかけとしてこのサイトをご覧ください。

「父親のWLB（ワーク・ライフ・バランス）応援サイト」は

こちらから URL:<http://www.papa-wlb.jp/> ご覧になれます。

DV から子どもたちを守るために

DV防止講演会 10月29日好評終了：東海学院大学 心理相談員 野田仁美さん

講師の話から：子どもたちは、強いストレスを受けると脳にダメージを受けます。DVにさらされた3～5才の子どもは、かんしゃくを起こしたり、泣き出すと止まらないなど自己コントロールが弱くなり、さらに他者への共感が少なく、社会的問題解決能力が低くなる傾向があります。学童期の子どもたちは、すぐに暴力に訴えて、対人トラブルを引き起こしやすいなど深刻な影響がみられます。心の回復には、一人でも信頼できる大人との親しい関係を築くことが重要です。また親子を一緒に支援していくことも必要です。



大学生による子どもへの対応の実演

心を閉ざした子、かんしゃくを起こす子などの具体例から、その子どもにちょうど良い距離を取りながら、興味のある話題をどうというテンポで話すかなど、実演で学びました。受講生のみなさんから、わかりやすかったと好評でした。

受講生のアンケートから

「接し方は、とても大事」「事例での説明が、わかりやすかった」「もっと話を聞きたかった」などの声をいただきました。DVを理解した大人たちが、子どもたちの心の回復の手助けをすることで、子どもたちが暴力を使わない大人になる可能性がひろがります。

お互いに、安心して暮らせる社会をつくっていくために、身近なところから行動をしていきましょう。

今月のおすすめ本

あなたは、「周りの人とのかかわり方」について、悩んだことはありませんか？

今月は人間関係に変化を起こすお助け本を紹介します。

『お父さんのための1日10分、本気の子育て』

著者は、心理学の資格を取得して日々の実践に活かしている幼稚園長さんです。「寝る前に子どもに語ることは」、「月に一度奥さんの日」などヒントが、20個書かれています。たった10分ですが本気が大事。毎日の積み重ねはあなどれません。「なんか、このごろお父さんいい感じ・・・」来年には、そんなつぶやきが家族から聞こえるかもしれませんよ・・・。

『家族の中の弱者と強者 読売新聞「人生案内」より』

心療内科医が、読売新聞の人生案内によせられた相談（家族問題、友人・知人、周りの困った人たちなど）に助言しています。読みながら考えていくうちに自分らしい人生とは何かが、くっきりと見えてきます。心もすっきり、新年を迎えましょう！



図書館の貸出期間は1ヶ月間です。
一人10冊まで、借りられます。

今月のキーワード

人間開発指数(HDI)

健康・教育・所得の水準から各国の暮らしの豊かさを示す指数のことで、GDP（国内総生産）だけでは見ることができない生活の質を計ると言われています。

人間開発指数は、平均余命、識字率・就学率、一人当たりのGDPに基づいて算出され、人間開発指数が上位の国に暮らす人ほど教育水準が高く、平均余命が長く、所得が高いと言えます。上位はノルウェーをはじめとした先進諸国が占めています。2009年は、過去最多の182の国と地域について算出され、日本は10位でした。

一方、女性の所得や、専門職・管理職および国会議員に占める女性の割合を用いて算出される、ジェンダーエンパワメント指数(GEM)では、日本は調査をした109カ国中57位で、HDIの数値に比べ大きく落ち込んでいます。これは、HDIの低い南アフリカ共和国やウガンダよりも低い順位となっています。

この結果を見ると、日本はまだ女性が能力を發揮する機会は十分でないことが分かります。女性が政治・経済活動に参加し、意思決定に参加するなど、さらなる男女共同参画の取り組みが求められます。

登録グループイベント情報

- 12月 2日(水) **高齢者のための“あさひっこ学校”...総合「健康ふれあい教室」**
園児と一緒におりがみ、歌、茶話会など
- 12月 9日(水) **高齢者のための“あさひっこ学校”...書道「硬筆」**
鉛筆で草書を書いてみましょう。
- 12月 23日(祝) **高齢者のための“あさひっこ学校”...社会 映画「佐賀のがばいばあちゃん」**
心温まる映画です。
時 9:30～11:30 費 各500円 所 なやプラザ または総合会館3階会議室 定 各20名(先着順)
問・申 健康サポートあさひっこ 草川(090-8863-6286) それぞれ前日までにお申し込みください。
- 12月 13日(日) **ママ～ずマーケット**
子育て中のママの、ママによる、ママのためのフリーマーケット。室内なので雨天決行。休憩室完備。
参加型の楽しいミニコンサートもあります。出店者、ボランティア也大募集中！
時 10:00～14:00 所 山田町高若センター 問・申 みつくすじゅうす 田中(TEL059-328-1111)
- 12月 14日(月) **ワンプレートランチとケーキでクリスマス！！**
人形劇団「ののはな」納富さんの人形作りワークショップ、ママによるハンドベルなど
時 10:30～13:30 費 1,500円(会員1,200円) 持 100円程度のプレゼント
所 四日市まんなか子ども劇場 問 四日市まんなか子ども劇場 (TEL&FAX059-351-6670)
- 12月 18日(金) **「井伏鱒二を読む」格調の中にユーモアと温かみ**
『山椒魚』『夜ふけと梅の花』『黒い雨』『厄除け詩集』を読みます。講師は河原徳子先生。当日自由参加で予約は不要です。
時 13:30～15:30 費 500円(資料代含) 所 はもりあ四日市 会議室
問 よっかいち朗読文学の会 雨沢(TEL&FAX059-337-1873)

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。今回は、Can(きゃん)さんです。

Can(きゃん)

代表者 岡田 博子 会員数 7名

連絡先 059-352-3094

子どもと子どもの本が大好きな人たちの交流を深め、共に学び、情報交換や話し合える場を増やしていきたいとの思いで2007年6月に立ち上げたグループです。子どもの読書に関わる人たちの学びや情報交換の場を企画し、子どもと本をつなげる場を広げていく活動をしています。子どもの本を真ん中に多くの大人が子どもたちと触れ合い見守ることで、子どもをとりまく環境に目を向け、よりよい地域を作っていく力になれるよう願っています。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml